

1Day for Others プログラム概要 【3】ビジネスで社会課題に挑戦！【社会起業家】

プログラムNo.	41					
プログラム概要						
受入先名称	株式会社ユーズ					
プログラム名	エコ活動がビジネス!? 天ぷら油で世界を変えるビジネスに触れよう!					
活動の目標	これからの社会を担う、若い世代のエコマインドを育もう! 社会をよくしようと活動する企業について知り、視野を広げよう!					
内容	家庭から捨てられている使用済み天ぷら油は、年間20万キロリットルにも上ると言われています。株式会社ユーズは、これらの油を回収し二酸化炭素を増やさないエコ燃料やキャンドル、石けんなどのエコ資源にリサイクルをしている、資源の循環型社会の構築を担う企業です! 油リサイクル工場の見学や石鹸作り、スライツリ見学などを通し、廃食油を再資源化する取り組みについて理解を深めましょう!					
備考	[当日の持ち物、服装] 動きやすい服装で来て下さい。ヒールのない靴(スニーカーなど)が望ましいです。 [昼食について] 提供あり。無料! [参加の注意点]					
このプログラムのおすすめポイント	環境教育、エコ活動をビジネスとしている企業について学べる! 使用済みの油や賞味期限切れの食用油がどのようにしてリサイクルされているかが分かる!! ユーズと連携して活動している学生団体との交流ができる!					
リーダーから参加学生にむけて一言!	ユーズの代表、染谷ゆみさんは、廃食油をリサイクルして石鹸やキャンドルを作り、それを売ることによって利益を上げている女性の社会起業家です。今まで「ごみ」としてしか見られていなかった「油」が「資源」になる! 環境問題に興味がある方は是非お勧めです。					
実施日程・募集人数						
※事前学習、学生観合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月21日	土曜日	6人	1人	7人

プログラムNo.	42					
プログラム概要						
受入先名称	株式会社 オーク					
プログラム名	環境WEBマガジンECOLOCO 体験ルポを通じたWEB編集作業・情報発信活動					
活動の目標	取材やWEBマガジンの編集作業を体験して、WEB制作会社が行うCSR活動やその意義を学ぶ。					
内容	WEBマガジン「ECOLOCO」のライフスタイルもしくはエココナ人のコーナーで、社会において有意義な取り組みを行っている企業もしくは人を取材しながら、私達の暮らしを豊かにし持続可能なものにしていく提案を、WEBの記事を通じて情報発信していきます。インタビューから記事、写真撮影、WEB話面の構成などを行います。 参加可能な方は、6/6(金)平日の取材(2時間程度)と、6/14(土)の編集会議の2回ご出席ください。⇒6/14(土)のみの参加も可能です。 取材先は、本業において障がい者雇用を積極的に行っている日総びゅあさんにお伺いする予定です。6月12、13日に一番大きなイベント「感謝祭」が開催されます。また会社見学会も随時受け入れてますのでそのタイミングで取材にいきます。 【本番】①、②の2回 ①6月6日(金)《任意》:取材についての打ち合わせを行い、そのあと日総びゅあ株式会社さんへ取材を行います。 ②6月13日(金)《任意》:日総びゅあ株式会社のイベント「感謝祭」体験取材・見学。 ③6月14日(土)《必須》:取材内容をまとめ、WEBに掲載できるまでコンテンツを仕上げをします。 ※原則は、①②の両日出席ですが、6/14(土)のみの参加も可能となりました。					
備考	[当日の持ち物、服装] 筆記用具持参。動きやすく、あまり肌が露出しない服装で参加してください。(スカート不可。靴はスニーカーがよい) [昼食について] 6月14日(土)の編集会議では昼食はお弁当が配布されます。 [参加の注意点]					
このプログラムのおすすめポイント	WEB制作会社におけるCSR活動の一環として、WEBを使った地球に優しい環境活動、ライフスタイルの提案の情報を発信するという作業を通じて企画、インタビュー、取材、執筆、編集という仕事も体験します。(WEB上に自分たちの取材した記事が掲載されるので、就職活動での実績にもなります。)					
リーダーから参加学生にむけて一言!	このプログラムは取材やWEBマガジンの編集作業を体験して、WEB制作会社が行うCSR活動を学べます。初めての方でもサポートしていただけるので心配いりません。ぜひ、興味のある方は参加して下さい。もちろん普段からボランティアで関わっている方も歓迎します! みんなで、楽しい1Dayにしましょう!					
実施日程・募集人数						
※事前学習、学生観合せを除く	全	2	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月6日	金曜日	5人	1人	6人
第2回	日程A	6月14日	土曜日			

プログラムNo.	43					
プログラム概要						
受入先名称	公益社団法人 難民起業サポートファンド					
プログラム名	難民問題を考える～ミャンマー料理を通して～					
活動の目標	おいしい料理を通して、多文化共生や難民問題について考える。					
内容	社会起業を通じて、日本の多文化共生と経済的自立の仕組みを知る。特に、今回は日本にいる難民に、なぜ難民が起業するのか、起業するにあたっての困難な点を聞き、問題解決を試みる。当日は、これまで試行的に実施してきた難民の経営するレストランに行き、実際に経営支援が行われている現場で難民や支援者からいろいろなお話を聞くことができる。普段メディアを通してしか見聞かさない難民の現状を体感でき、難民問題の理想と現実のギャップについて考える非常に貴重な機会である。 [雨天時のプログラム内容] 変更無し					
備考	[当日の持ち物、服装] 筆記用具、昼食代500円程度を持参。服装は特に指定なし。 [昼食について] 現地のレストランで食事をします。 [参加の注意点] 難民の個人情報、当日話す情報、写真等をSNSに載せない。					
このプログラムのおすすめポイント	日本で難民として生活している人が起業して営んでいるレストランに伺って様々なお話を聞くことができます。難民問題に興味がある方、難民問題はあまり知らないけれども話を聞いてみたい方、ミャンマー料理を食べながら、難民の現状と問題について考えていきましょう。自分の新しい価値観を発見するチャンスになると思います。事前学習では、「ワールドカフェ」を導入して、参加型のワークショップを通じた学生同士のディスカッションをメインに行います。次の社会を担う学生が、難民に対するイメージと理想、そして現状のギャップを埋めつつ、より良い社会とは何かを考える機会を得ることができます。一方で、考えるだけではなく、実際に自立を目指している難民が、日本社会でどういった課題に直面しており、学生視点で何が出来るのか、課題解決案を出し、日本社会と難民の架け橋になるきっかけを作り発表しましょう。					
リーダーから参加学生にむけて一言!	難民問題に興味がある人、美味しいミャンマー料理が食べたい人! ワールドカフェが経験できて、難民やその支援者の方からお話を聞くことができる貴重な機会です。難民問題について、詳しく考えてみませんか?					
実施日程・募集人数						
※事前学習、学生観合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月7日	土曜日	10人	1人	11人

プログラムNo.	44					
プログラム概要						
受入先名称	株式会社 アットマーク・ラーニング					
プログラム名	親コーチング研修～親子の信頼関係を築くために～					
活動の目標	親子間でのコミュニケーションスキルを学び、そのスキルが今後の子どもの教育にどのように影響するのかを考え、体験する。					
内容	保護者を対象とした、子どもとの接し方を学ぶ「親コーチング研修」のお手伝いを行います。中学高校生の子どもをもつ保護者に対して、傾聴・承認・動機づけの3つの会話スキルを習得し、これからどう子どもと向き合っていくのかを考えていく研修です。会場の設置だけでなく、参加学生には子ども役をしてもらい、実際に保護者と話をしてもらいます。コーチングは、親子関係だけに必要なものではありません。学生生活や社会人となっても、様々な人間関係に役立つスキルを学べます。					
備考	[当日の持ち物、服装] 筆記用具、常識の範囲内で、動きやすい服装 [昼食について] お弁当が支給されます [参加の注意点] 遅刻厳禁					
このプログラムのおすすめポイント	実際の保護者と話ができるため、普段なかなか聞けない親の真音を知ることができます。会話のスキルも学べるので、人と話すのが上手くなるかも。教育関係に興味がある方だけでなく、最近、親と仲良くないなあという方にもオススメです! また、ボランティアを始めてみたいけど、どうすればいいのかわからないという方もぜひ!					
リーダーから参加学生にむけて一言!	なかなか親子関係は上手いかわかりませんが、でも、何か辛いことや悲しいことがあった時に、最後に頼れるのは「親」なのではないでしょうか。もう一度、親との触れ合い方を一緒に考えてみませんか?					
実施日程・募集人数						
※事前学習、学生観合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月14日	土曜日	19人	1人	20人

1Day for Others プログラム概要 【3】ビジネスで社会課題に挑戦！【社会起業家】

プログラムNo.	45			
プログラム概要				
受入先名称	株式会社 マザーハウス			
プログラム名	ものづくりでつながる笑顔の輪～商品の「向こう側」と出会う～			
活動の目標	途上国でものづくりに携わる企業の現場と途上国の現状を知ることによって、わたしたちが日常生活で世界とつながっていることを実感し、ものづくりが社会問題をどう解決していくかを学ぼう！			
内容	株式会社マザーハウスは、「途上国から世界に通用するブランドをつくる」という理念をもち、バッグをはじめとしたアパレル商品や雑貨の生産、販売を行っている企業です。それらの事業活動の中で、途上国の素晴らしい資源を活かし、そこに進む可能性に光をあてた活動を行っています。 プログラムは、三部構成で展開する予定です。まず第一部では、マザーハウス設立の経緯、会社概要の説明を知ります。また、生産地であるバングラデシュ、ネパールの生産風景を動画を見て会社の取り組みを学びます。 第二部では、ワークショップ形式で、商品のデザイン考案(未定)を実施します。その後、各グループシェアをし、実際に商品を生産している現地の生産者の方と中継(予定)をして、デザイン案の発表をします。 第三部では、今回のイベントで学んだことを一日で終わらせるのではなく、今後に生かすために、一部と二部を通して感じたことのシェアや、決意表明をします。 [雨天時のプログラム内容] 同上、雨天時決行			
備考	[当日の持ち物、服装] 筆記用具持参。服装は自由です。 [昼食について] 不要です。 [参加の注意点]			
このプログラムのおすすめポイント	普段あなたが身に着けているもの、そのバックグラウンドを知っていますか？そのことを考えただけでも、社会の課題を知ることができます。国際協力に関心のある人にとっては、「エンカレッジ」を謳わずに、持続可能な「ビジネス」で、途上国と関わるという観点、企業の事業展開に興味のある人は、生産者と消費者という関係の垣根を越えたり取り組んでいる事を知り、各人新しい価値観を発見できるとも思います。そして、わたしたち学生が社会において、社会のために日常生活のなかで何が出来るのか、きっとその答えに出会えるはずですよ。			
リーダーから参加学生にむけて一言！	参加者全員で作上げるイベントになればと思いますが、そのために楽しい雰囲気のある場を提供し、それぞれにとって、今年度の活動の足がかりとなるようなイベントになるように努めます。ボランティア、企業、国際関係など参加のきっかけは問わず、どなたでも大歓迎です。商品の「向こう側」を一緒にのぞいてみましょう。			
実施日程・募集人数				
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全 1 回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月19日	木曜日	30人 1人 31人

プログラムNo.	46			
プログラム概要				
受入先名称	株式会社 オルタナ			
プログラム名	文章力をグレードアップ！～Twitter&Facebook編～			
活動の目標	社会性を含んだ話題(政治・経済・ボランティア・貧困・地域活性・国際問題など)を参加学生からの目線で楽しく語ってもらって、そこから感じた疑問点や気になった点をSNSを使って記事にする事で、自分の考えを発信する事に興味を持ったり、その方法を身につけてほしいです。			
内容	携帯電話(スマートフォン)が普及していき、今では1人1台の時代。その中で、多くの人々がTwitterやFacebookなどのSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を利用しています。しかし、そのほとんどの人は記事の書き方を学ばずに、記事を投稿しています。このプログラムでは、短い文章(100文字程度)の中で自分が伝えたい事を伝える方法や記事と一緒に投稿する写真・動画の撮り方を学ぶ事ができます。SNSは自己主張や自己表現が出来る場所でもあるので、ぜひこのプログラムをきっかけにして、SNSを使い自分の文章でたくさんの事を発信していくてほしい！！			
備考	[当日の持ち物、服装] 筆記用具・メモ帳・携帯電話・身近に感じた疑問点や気になったトピック(記事の題材)・飲み物 [昼食について] 昼食の用意はありません。各自済ませて来て下さい。 [参加の注意点] 株式会社オルタナがインターネットで発信している若者向けのソーシャルマガジン「オルタナS」のサイトの中で気になった記事(2, 3個程度)を読んでください。 「オルタナS」のURL http://altarnas.jp/			
このプログラムのおすすめポイント	1. 出版社の方から、文章の作り方、写真や動画の撮る方法を学べます。 (写真はみなさんが日常で撮る食べ物や風景etc...)。 2. プログラム中に、実際に携帯電話でTwitter & Facebookを使って文章を作成し、投稿します。			
リーダーから参加学生にむけて一言！	文章力をグレードアップさせて、Facebook&Twitterでフォローに見せつけちゃいましょう☆ SNSのフォローからの「イイね」や「お気に入り」がたくさん欲しい人は集まれー！！！！			
実施日程・募集人数				
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全 1 回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月21日	土曜日	11人 1人 12人

プログラムNo.	47			
プログラム概要				
受入先名称	株式会社 スワン			
プログラム名	障害のある方たちとともに働くことを考える			
活動の目標	障がい者が活躍している場から誰もが生きやすい社会を学び、考える。			
内容	パン作りという行為を通じて、障害を持つ方々の自立を支援する株式会社スワン。月に2回ほど明治学院大学白金校舎にてパン販売を行っています。その販売会でのお手伝いと、赤坂店にて、スワンの設立の経緯と取り組みについてパワーポイントを使って説明をお聞きし、ノーマイゼーションの理念を実現するための活動について学びます。 [雨天時のプログラム内容] 雨天決行。			
備考	[当日の持ち物、服装] 動きやすい服装。(ヒールの高い靴などはNG) 筆記用具とエプロンを持ってきて下さい。 [昼食について] 各自持参 [参加の注意点] 当日の遅刻は厳禁です。場合によっては打ち切りの可能性もあるので注意してください。			
このプログラムのおすすめポイント	障害のある人々と関わりながら、スワンの取り組みを深く知ることができる貴重な機会です。			
リーダーから参加学生にむけて一言！	誰もが生活しやすい社会というものを、障害のある方たちと関わりながら一緒に考えましょう！			
実施日程・募集人数				
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全 1 回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月16日	月曜日	5人 1人 6人

プログラムNo.	48			
プログラム概要				
受入先名称	第3世界ショップ/株式会社 プレス・オルターナティブ			
プログラム名	第3世界ショップができるまで～生産者の思いに直接ふれる～			
活動の目標	フェアトレードによって届けられた商品が途上国の生産者から消費者の手に届くまでどのような過程があるのか、実際の業務を通して学ぼう。			
内容	第3世界ショップができた経緯やフェアトレード商品についての説明をお聞きした後、商品倉庫にて入荷したばかりのフェアトレード商品の開梱、検品作業を行います。また、当日実施する検品作業の意義、商品が届くまでの流れを説明させていただきます。フェアトレードにおいて途上国の生産者と対等な関係を保ち彼らの生活を支援するために、その商品を継続して売り続けることが大切です。ただし、開梱・検品作業はお客様に不足なくキズや汚れのない商品をお届けするための作業ですが、厳しすぎれば生産者に返品しなければなりません。消費者と生産者の要望のバランスをとることが重要です。当日、どのような商品が入荷されるかはお楽しみですが！ (補足)途上国からの輸入は時間がかかり、入荷の時期にも変動があります。入荷時期が変動してしまった場合検品作業のみの実施になる可能性があります。あらかじめご了承ください。 [雨天時のプログラム内容] 屋内なので特に変更ありません			
備考	[当日の持ち物、服装] 開梱・検品作業ですので、多少汚れてもいい動きやすい服装をお願いします。 [昼食について] 事前にご持参ください。近くにコンビニがあるので、そちらで購入してもかまいません。 [参加の注意点] 特になし。			
このプログラムのおすすめポイント	フェアトレード商品は一つ一つが手作りで大変な手間をかけて作られています。食料品、衣類、靴、雑貨など実際にさまざまな商品にふれながら、途上国の生産者の思い、これらに手にとるであろう消費者の笑顔を考えることができるでしょう。また、プレス・オルターナティブはフェアトレードだけでなくさまざまな新しいプロジェクトを行っています。今回のプログラムで完結することではなく、より広いコミュニティへつながることのできるきっかけとなるはずですよ。			
リーダーから参加学生にむけて一言！	フェアトレードってなんだろう？そのような疑問、興味からでも全然かまいません。その興味がプログラム終了時には新たな知識、大きな経験となるように私どもががんばらせていただきます！また、プレス・オルターナティブ主催で5月17日(土)に「田舎・アジアでシェイクアウト」をテーマに田舎やアジアで働く現地のスタッフの話が聞ける勉強会があります。開催場所は大田区ではなく、第3世界ショップのお店がある目黒で開催予定です。参加して頂いた学生は、この勉強会から実際に現地に行ってみたり講演を聞くだけでなく、自らもコミュニティトレードに参加し実践する機会となっているそうです。1Dayのプログラムに申込みをし、この5月のイベントにも興味がある方がいましたら、リーダー学生から連絡があった際に気軽に申し出てください！			
実施日程・募集人数				
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全 1 回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月14日	土曜日	6人 1人 7人

1Day for Others プログラム概要 【3】ビジネスで社会課題に挑戦！【社会起業家】

プログラムNo.	49	プログラム概要						プログラムNo.	50	プログラム概要					
受入先名称	特定非営利活動法人ETIC. 横浜ランチ						受入先名称	ARUN合同会社 (ARUN LLC.)							
プログラム名	マイテーマを定めてキャリアを築く～社会起業家からのメッセージ～						プログラム名	社会的投資とは？実際に現場で感じてみよう！							
活動の目標	マイテーマを持って社会課題解決・地域活性化に挑む社会起業家の活動から、一生を懸けて追及しがたいあるマイテーマとどのようにすれば出会えるか、来来自分のキャリアを築くために今後何が必要なのかを考えてみよう。						活動の目標	社会的投資のことをより一層深く知り、社会貢献への視野を広げる。							
内容	<p>1. 会場で社会起業家のお二人から、活動内容・どのようなキャリアを歩んできたか、どのように生き方や働き方の選択をし、意思決定してきたかなどを伺う。2. お二人と参加者のクロストーク対話、質疑応答を通じて疑問点や感想を交わす。3. ワークショップを通じて自分の将来キャリアについて考える。4. 最後に希望者限定で、社会起業家との交流会を行います。</p> <p>【ETIC横浜ランチ紹介文】 NPO法人ETICは、社会の様々なフィールドで新しい価値を創造する起業家型リーダーを育成し、社会のイノベーションに貢献するNPO法人で、今年、設立から20年を迎えました。その中でETIC横浜ランチでは、「融合」「セクターを超えた協働」をテーマに、あらゆる地域課題の解決に向け、地元企業・起業家・学生・NPO・行政とともに、地域社会の未来を照らし出すソリューションを、横浜から生み出すことを目指して活動しています。横浜での主な事業は、長期実践型のインターンプログラム「地域未来創造型インターンシップ」や、社会起業家の起業を支援する「Yokohama Change maker's CAMP」など。</p> <p>【ゲスト情報】 ①鈴木慶太氏 株式会社Kaizen 代表取締役 発達障害の方に特化した就労支援事業や教育支援事業を展開。 ②桑子亜希子氏 一般社団法人家族力向上研究所。幼稚園・保育園向け研修講座の実施、家族関係や生活動向に関する調査を行う。</p>						内容	<p>午前中は社会的投資をおこなっている機関、ARUN(アルン。カンボジアで使われているクメール語で「日の出」の意味)合同会社の投資委員会を傍聴(機密保持契約を交わす必要あり)。金融や国際開発などさまざまな分野のプロフェッショナルが、日頃の業務で培った専門的な知識を駆使して、新興国のソーシャルビジネス(=社会の課題を解決するためのビジネス)企業に対する投資可否の判断をおこなったり、投資後のモニタリングをおこなう様子を見ることで、社会的投資という耳慣れないであろうことばの「現場」を味わってください。午後は、ARUNのホームページやSNSを通じた広報活動をお手伝いいただきます。</p> <p>【雨天時のプログラム内容】 特に変わらない</p>							
備考	<p>【当日の持ち物、服装】 自由な服装 【昼食について】 不要 【参加の注意点】 明治学院学生だけではなく、一般学生も参加するイベントです。</p>						備考	<p>【当日の持ち物、服装】 パソコンが持参できる方は持ってきてください。 【昼食について】各自、時間内に社外で昼食をとってください。(費用は自己負担) 【参加の注意点】 投資現場に接することになるため、NDA(機密保持契約)の意義と重要性を理解したうえで参加となります。事前学習は参加必須でお願いします。もし予定がはずれない場合は相談にのります。</p>							
このプログラムのおすすめポイント	<p>自分は将来どのようなキャリアを歩んでいけばいいか、どの分野に自分が興味を持って、どういったことに問題意識を持っているのか考えたことがありますか？実際、地元の横浜で、社会課題解決や地域活性化のために、より良い社会を目指して活動している社会起業家に会い話し合う中で、自分のあり方やキャリアについて考え、自分のキャリアを通じて極めたいいきたいマイテーマを見つける第1歩としてもらえるプログラムです。</p>						このプログラムのおすすめポイント	<p>「社会的投資」という言葉は、聞きなれないかもしれませんが、寄付や援助ではない形で、新興国を支える方法の一つ、社会的投資をこのプログラムでは間近に見て、考えます。どうすればもっと社会的投資への理解や関心が深まるか、学生の視点から発信しましょう！</p>							
リーダーから参加学生にむけて一言！	<p>地域活動や社会貢献って一見難しいと思いますが、実は楽しいことでもありますし、自分の人生の意義を探っていくことでもあります。皆さんも社会起業家と出会い、社会に様々な活動をして経験している方々との話し合いで、自分の中の何かを見つけてみませんか？きっと胸が熱くなる大切な経験になると信じます。</p>						リーダーから参加学生にむけて一言！	<p>社会的投資の現場を間近で見られる機会なんてそうそうありません。この社会的投資が何のためにあり、今後どういった成果が出てくるのか、1から社会的投資を知るチャンスです！国際協力にはこんなアプローチもあるんだ！と、視野が広がります。社会的投資、と一見難しい単語に思えるかもしれませんが、事前学習があるので心配ご無用です！</p>							
実施日程・募集人数							実施日程・募集人数								
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計	参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計		
第1回	日程A	5月28日	水曜日	10人	1人	11人	第1回	日程A	6月14日	土曜日	4人	1人	5人		